

まちづくり交付金 事後評価シート
望月宿地区

平成20年12月

長野県佐久市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	長野県		市町村名	佐久市		地区名	望月宿地区		面積	115 ha		
交付期間	平成17年度～平成20年度		事後評価実施時期	平成20年度		交付対象事業費	136百万円	国費率	0.3999			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業		公園(佐久良公園、望月宿公園)、地域生活基盤施設(回遊ルートサイン)							
			提案事業		特産品(土産品)開発調査、イベント開発研究、観光案内者育成							
	当初計画から削除した事業		基幹事業		道路(町道御桐谷青木線) 道路(町道城前線) 公園(望月橋公園) 高質空間形成施設(カラー舗装) 高質空間形成施設(道路照明施設)		削除/追加の理由		町道御桐谷青木線:大型車両規制と住民合意の必要性から期間内実施が困難 町道城前線:回遊ルートサイン事業の対象ルートから除外 望月橋公園:土砂災害警戒区域に指定予定で安全性確保が困難 カラー舗装:維持管理の問題や市道付替整備も生じ、期間内実施が困難 道路照明施設:維持管理や地元同意の問題があり、期間内実施が困難			
			提案事業		観光案内所・土産品販売所設置調査		既に地元団体による検討が進められているため		影響なし			
	新たに追加した事業		基幹事業		高質空間形成施設(沿道モニュメント)		宿場町の雰囲気を活かす事業であり、地元要望が高いため		宿場町の雰囲気をかもし出すモニュメントの設置を行う事により、目標・指標の改善への貢献を見込む			
			提案事業		駒の里 草競馬場整備事業 事業効果分析業務		草競馬場整備事業:歴史風土を活用する事業で整備目標に繋がるため 事業効果分析業務:専門知識を持った者に適正な事後評価を行ってもらうため		草競馬場整備事業:地域活動の活性化に関連するが、指標及び数値目標は据置 事業効果分析業務:影響なし			
交付期間の変更		当初	平成17年度～平成20年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響							
		変更										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	地域来訪者数(観光入込客数)	人/年	75,500	H15	64,000	H20	65,300	○	あり なし	公園整備やイベント・特産品開発、観光案内者育成等の事業が目標達成につながった。	平成22年4月
	指標2	天来記念館、歴史民俗資料館入館者数	人/年	5,524	H16	7,000	H20	7,404	○	あり なし	各施設で催される企画展等が入館者数増加につながった。望月宿公園の整備等の間接的効果も加わった。	平成22年4月
	指標3	地域イベント集客数	人/回	41,000	H16	55,000	H20	48,790	△	あり なし	イベント開発・研究による改善点が定着していない。直接的な要因は天候・気温であり、非常に大きく集客を左右する。	平成22年4月
	指標4									あり なし		
	指標5									あり なし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	特産品数	品	7	H16			10		まちづくり活動推進事業の特産品開発により、「エゴマダレ」が新たに開発された。	平成21年4月	
	その他の数値指標2	観光案内者数	人	0	H16			5		まちづくり活動推進事業の観光案内者育成により、観光案内者が増加した。	平成21年4月	
	その他の数値指標3											
4)定性的な効果発現状況												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス	現在活動している商工会、NPOまちづくり研究会、望月宿活性化検討会が協働し、事業を実施		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後も必要に応じ、同様の方法で継続していきたい				
	持続的なまちづくり体制の構築	現在活動している商工会、NPOまちづくり研究会、望月宿活性化検討会が協働し、イベントの開催、観光ルートの維持管理を実施		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● もちづきの会と協働したまちづくりを推進する				

様式2-2 地区の概要

望月宿地区(長野県佐久市) まちづくり交付金の成果概要

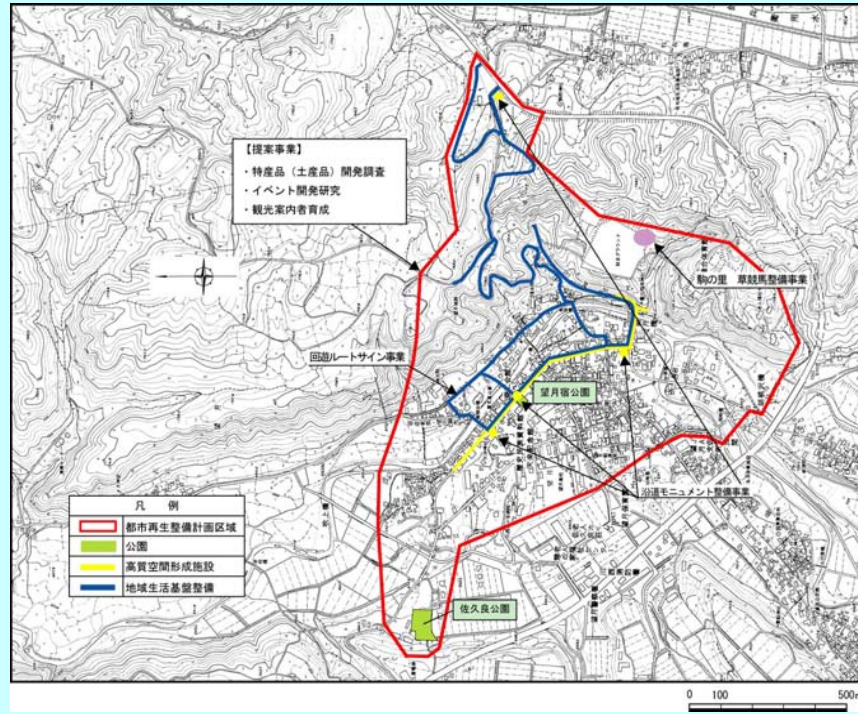
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標: 地域住民や来訪者に中山道・望月宿の趣を提供するまちづくり 目標1: 中心市街地における賑わいの再生によるまちづくり 目標2: 宿場の雰囲気を活かした観光、交流によるまちづくり 目標3: 地域活動を盛んにし、歴史風土を生き生きと活用するまちづくり	地域来訪者数(観光入込客数)	単位: 人/年	75,500 H15	64,000 H20	65,300 H20
	天来記念館、歴史民俗資料館入館者数	単位: 人/年	5,524 H16	7,000 H20	7,404 H20
	地域イベント集客数	単位: 人/回	41,000 H16	55,000 H20	48,790 H20
		単位:	H	H	H
		単位:	H	H	H



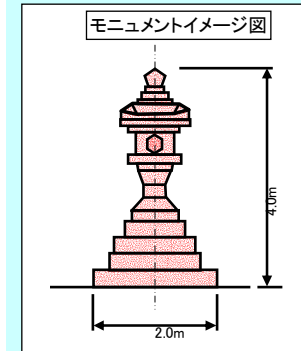
望月宿公園(広場・遊歩道・四阿整備)



佐久良公園(トイレ・芝生整備)



駒の里 草競馬整備(トイレ・駐車場整備)



まちの課題の変化

- 望月宿の観光資源を活かしたハード事業・ソフト事業の取り組みにより、地域来訪者数の減少傾向の食い止めや観光施設の入館者数増加、特産品数の増加など着実にまちづくりは進んだ。
- メイン通りに位置する望月宿公園は隣接する観光施設と一体となり、来訪者の憩い空間として利用されている。
- 地場産品を利用した特産品の研究を実施し、新たな特産品が販売されている。
- 歴史・風土を生かしたイベントの環境整備により、増加傾向になったイベントもあるが、地域全体のイベント集客数は目標に達していない。
- 景観に配慮したモニュメントとルートサイン整備により、宿場町の雰囲気をかもし出している。
- ボランティアの観光案内者数が増えており、市民のまちづくりへの意識が高まった。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- 地域来訪者数は数値目標を達成見込みであるが、減少傾向にある。地区の魅力を上向きさせるため、来街者増加を図る取り組みや観光資源を活かしたまちづくりが図られる事業を行っていく。
- 天来記念館、歴史民俗資料館に県内外から大勢の来館者が訪れるよう、今後も作品の展示やイベントの開催などに工夫を凝らしていく。
- イベント集客数の増加のため、「もちづきの会」と協働して改善策の検討を行ったり、PR活動を推進する。
- 統一された街並みによる宿場町の情緒を活かした景観の形成を目指す。
- 観光資源の質を上向きさせる周辺環境整備として電線地中化に取り組む。
- 特産品開発調査は継続してさらなる効果を上げたい。合わせて新たに開発した特産品を積極的に販売することで地場産業の活性化を図る。
- 観光案内者を活用して来訪者の利便性向上と交流の活発化を目指し、詰め所の検討を行う。